

コミュニティ・スクールのメリットと効果、魅力

コミュニティ・スクールは平成 17 年度から全国導入を始め、令和元年度までに全国の 7,601 校が導入しています。

文部科学省は、これまでに導入している学校の成果を次のように報告しています。

【メリット】

1 持続可能性

校長や教職員の異動があっても、地域と学校との組織的な連携・協働体制が継続できる「持続可能な仕組み」です。

2 地域総がかりによる協働活動の充実

子どもや学校が抱える課題や地域で育てる子どもの姿などを協議し、地域と学校が何を実現していくのか、などビジョンを共有することで、当事者意識が高まり、明確な役割分担をもった連携・協働による取組ができます。

【効果、魅力】

■子ども

＜学びや体験活動が発展、充実します＞

自己肯定感や地域の担い手としての自覚の高まり
他人を思いやる心の醸成

■保護者

＜学校や地域に対する理解がさらに深まります＞

地域の中で子どもが育てられている安心感
保護者同士や地域の人々との人間関係の深まり

■地域

＜地域と学校が社会的にさらにつながり、学校が地域のよりどころとなります＞

学校を中心とした地域ネットワークの形成
地域の防犯・防災体制のさらなる強化

■教職員

＜地域が学校のより力強い応援団になってくれます＞

地域人材を活用した教育活動の拡充
地域の理解、協力による子どもと向き合う時間の増加